

西部電機株式会社

(東証スタンダード・福証 証券コード6144)

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



2023年3月期
決算説明会

会社概要

(2023年3月31日現在)

商 号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6 1 4 4
上 場	東証 スタンダード市場 (2006年 東証 2 部上場) 福証 (1986年 上場)
本 社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創 業	1927年 1 月
資 本 金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時 価 総 額	236億 5千万円 (2023年 5 月 31 日現在)
売 上 高	284億78百万円 (2023年 3 月期 : 連結)
従 業 員	591名 (連結) 535名 (単体)
グループ会社	西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp

目次

1. 2022年度 連結業績

- ・事業セグメント別 売上高構成比
- ・2022年度 経営環境
- ・2022年度 連結業績
- ・事業セグメント別 受注高推移
- ・事業セグメント別 売上高推移
- ・営業・経常・親会社株主に帰属する
当期純利益推移
- ・営業利益増減要因分析
- ・キャッシュフロー推移
- ・2022年度 連結貸借対照表

2. 2023年度 連結業績見通し

- ・2023年度 経営方針
- ・2023年度 業績見通し
- ・事業セグメント別 売上高予想
- ・設備投資、研究開発費、減価償却費
- ・新精密工場兼事務所棟建設について
- ・事業セグメント別概況・基本方針・
通期見通し

3. 株主還元方針

- ・株主還元（配当政策・株主優待）
- ・配当金推移

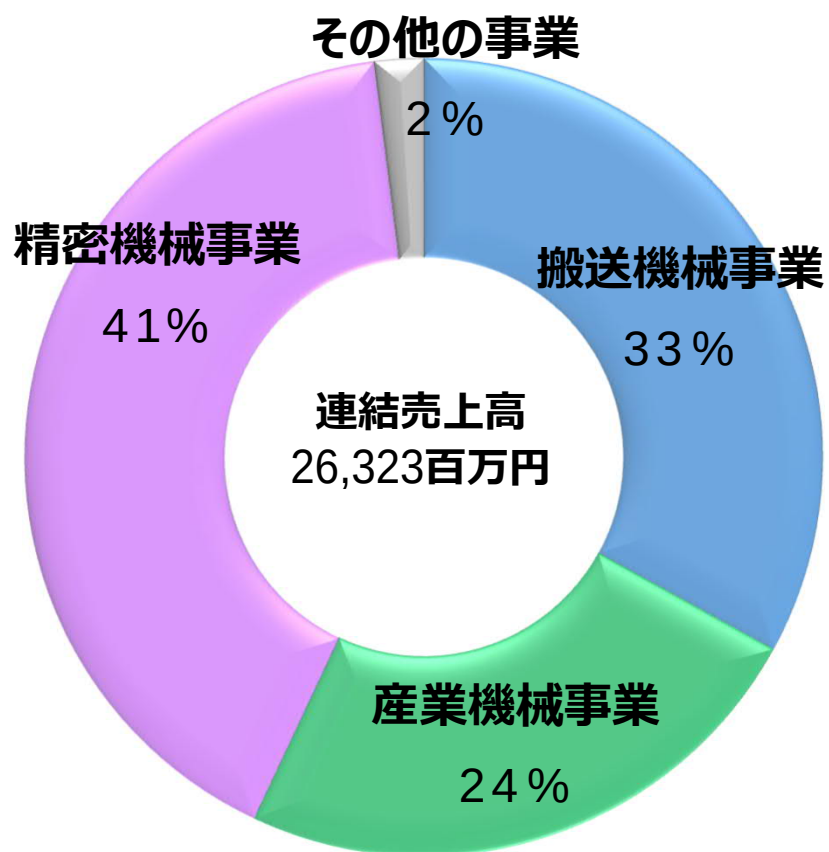
4. 中期経営計画の進捗状況

- ・「チャレンジ280」中期経営計画 売上高推移

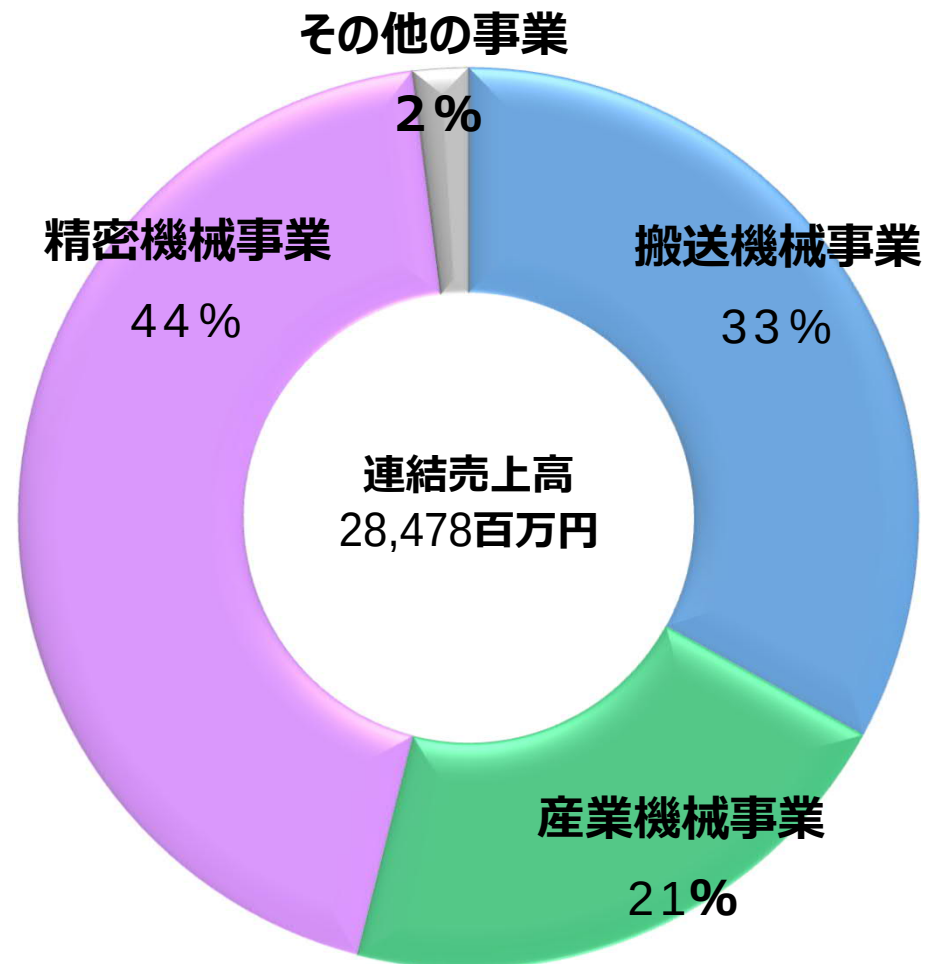
1. 2022年度 連結業績
2. 2023年度 連結業績見通し
3. 株主還元方針
4. 中期経営計画の進捗状況

事業セグメント別 売上高構成比

2021年度



2022年度

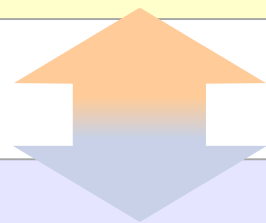


2022年度の経営環境

プラス要因

- 円安による輸出関連事業の伸長
- 生産設備機械の自動化や省力化、デジタル化の流れ

半導体市場の拡大や積極的なニューインフラ関連投資の推進



マイナス要因

- パソコンやスマートフォンなどのハイテク製品需要の循環的な減少局面
- 地政学的リスクの懸念などによる原材料価格、エネルギー価格の高騰

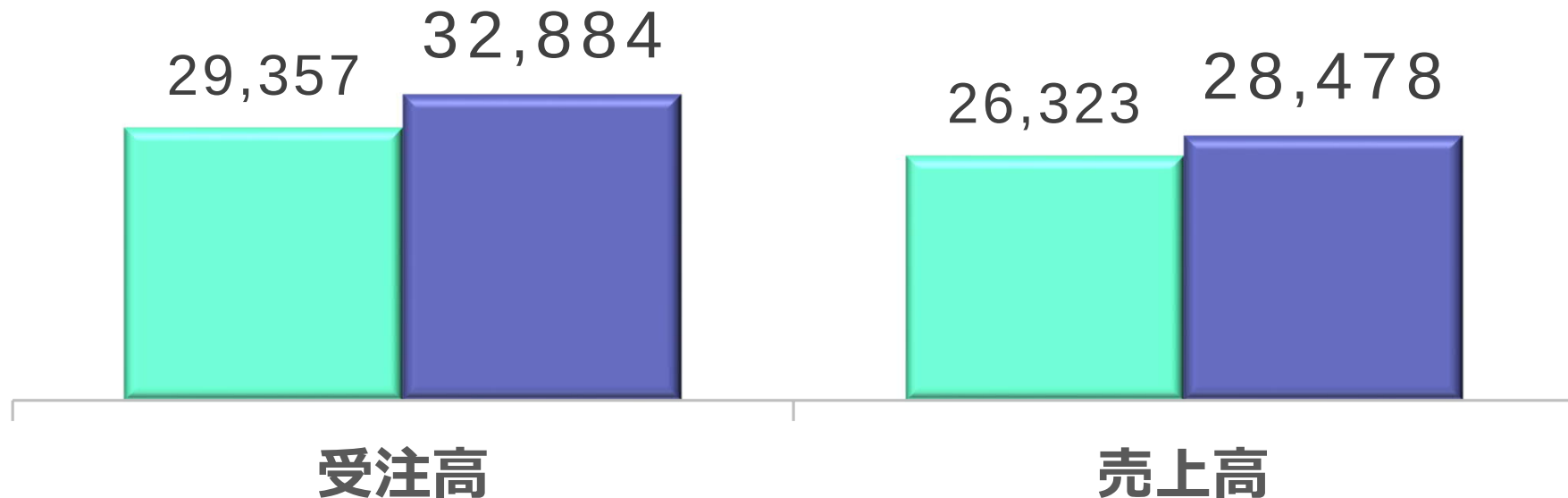
電子部品等の供給不足や資材労務費高騰への対応
諸外国の通商問題、政治・経済の不安要素

2022年度 連結業績

■ 2021年度

■ 2022年度

(単位：百万円)



	2022年度実績	増減額	前年同期比
受 注 高	32,884	+ 3,526	+ 12.0%
売 上 高	28,478	+ 2,154	+ 8.2%

▶ 受注高は、全ての事業セグメントにおいて増加（過去最高）

▶ 精密機械事業は、受注高、売上高いずれも過去最高

2022年度 連結業績

■ 2021年度

■ 2022年度

(単位：百万円)



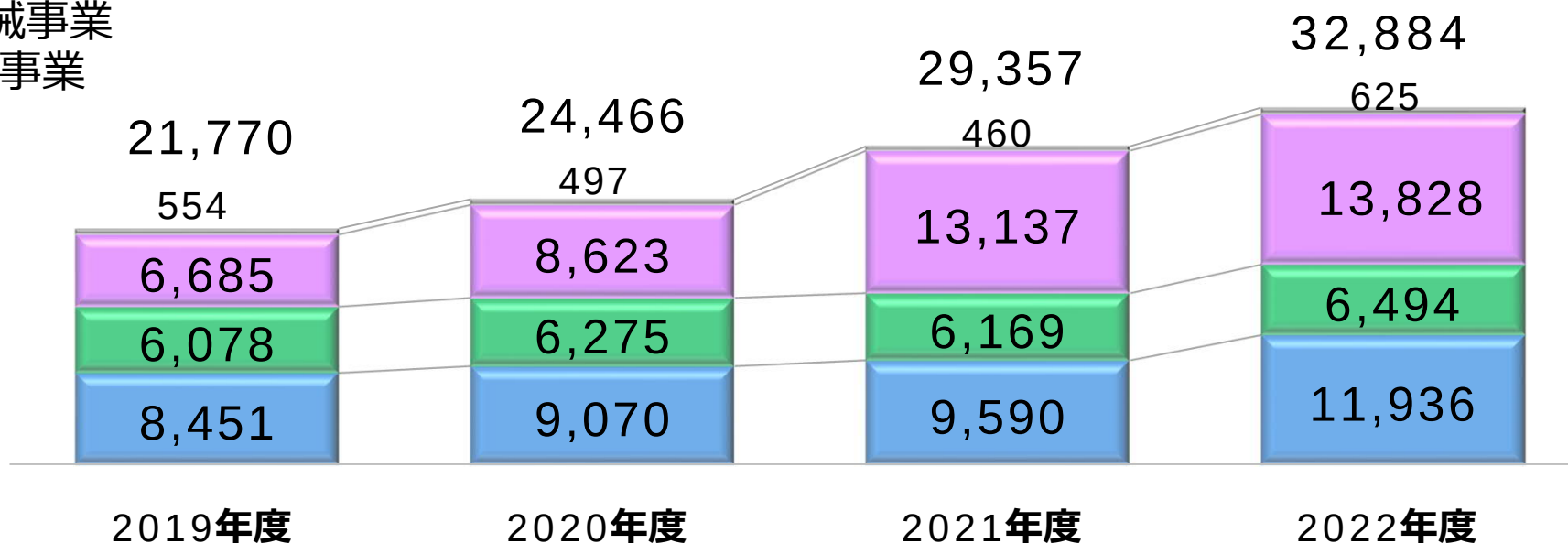
	2022年度実績	増減額	前年同期比
営業利益	2,411	△313	△11.5%
経常利益	2,530	△296	△10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,806	△136	△ 7.0%

▶ 各利益とも、原材料価格や資源価格の高騰などの影響により減少

事業セグメント別 受注高推移

- 搬送機械事業
- 産業機械事業
- 精密機械事業
- その他の事業

(単位：百万円)



【搬送機械事業】

- ▶ 既存顧客からの引き合い物件の増加に加え、流通業界の新規物件などの受注もあり、前期比24.5%増

【産業機械事業】

- ▶ 上下水道向けや水力発電所向けの受注やサービス・メンテナンスが増加し、前期比5.3%増で過去最高

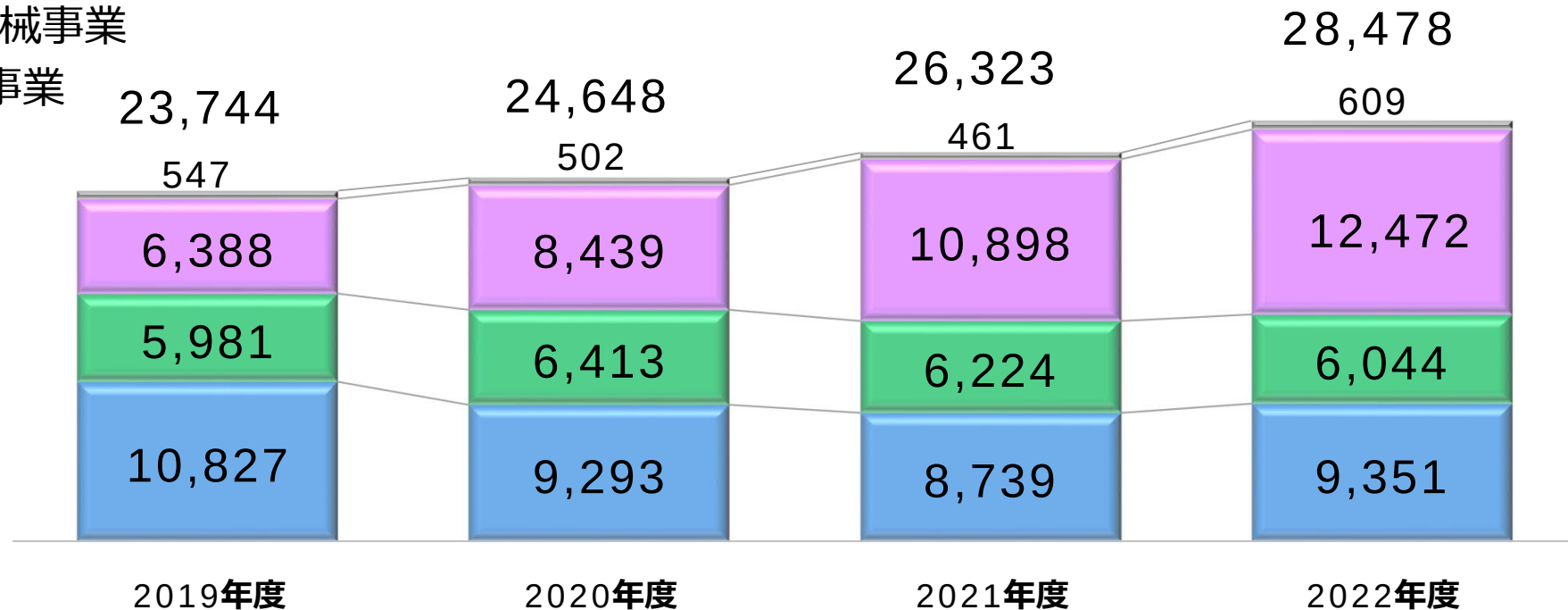
【精密機械事業】

- ▶ 国内は補助金効果、海外は中国向けワイヤ放電加工機の受注が堅調に推移し、前期比5.3%増で過去最高

事業セグメント別 売上高推移

- 搬送機械事業
- 産業機械事業
- 精密機械事業
- その他事業

(単位：百万円)



【搬送機械事業】

▶ 既存顧客からの売上増加やサービス案件の売上拡大により、前期比7.0%増

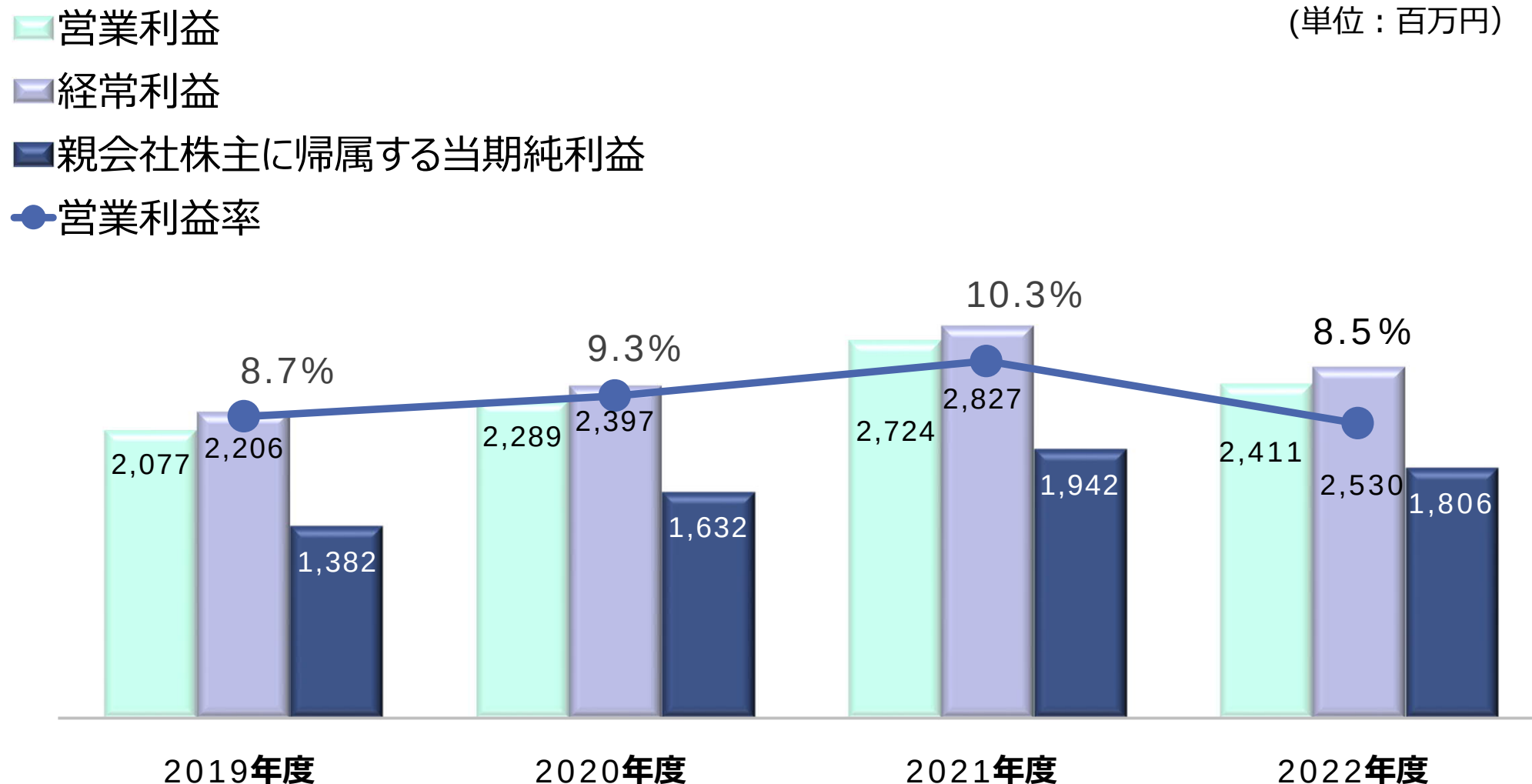
【産業機械事業】

▶ 長納期化の影響もあり、前期比では2.9%減

【精密機械事業】

▶ 国内は回復基調、海外は中国向け輸出の好調により、前期比14.4%増で過去最高

営業・経常・親会社株主に帰属する当期純利益推移

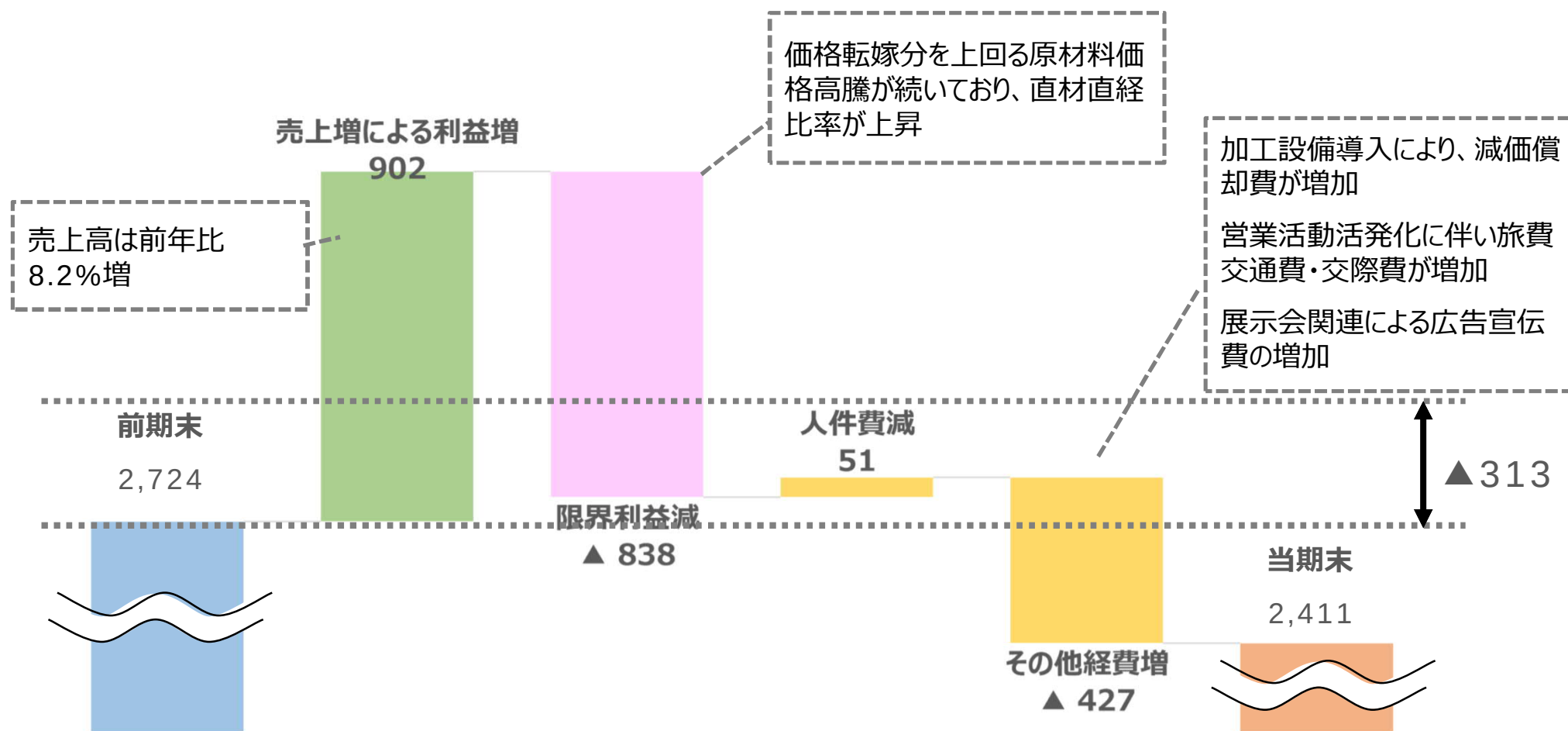


- ▶ 売上高は増加したものの、原材料や資源価格の高騰により、収益を圧迫する厳しい経営環境となり、各利益とも前期を下回った
- ▶ 利益目標達成に向けて、価格改定の推進やコストダウン、購買力と生産体制の強化を図る

営業利益増減要因分析

2021年度 実績 → 2022年度 実績

(単位：百万円)

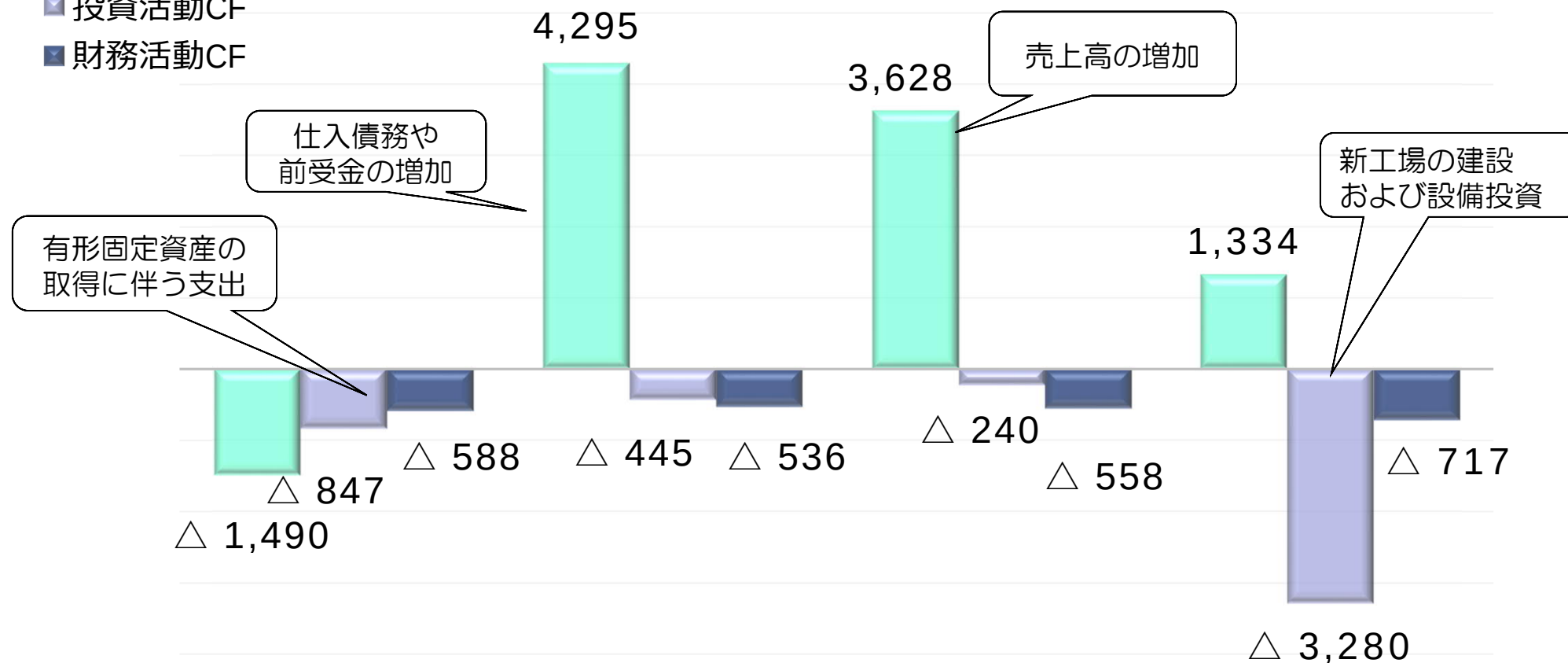


資材・原材料価格の高騰が続き、販売価格の見直しやまとめ調達、コストダウン、改善活動等に注力したが、全社で損益に対するカバー率は60%程度に留まり、増収・減益

キャッシュフロー推移

- 営業活動CF
- 投資活動CF
- 財務活動CF

(単位：百万円)



現金同等物
(百万円)

2020年3月末
7,511

2021年3月末
10,824

2022年3月末
13,654

2023年3月末
10,991

新工場の建設や加工設備の導入により、投資活動CF支出が大幅に増加し、現金及び現金同等物が2,662百万円減少

2022年度 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年 3月末	2023年 3月末	増減	主な増減要因
流動資産	25,403	25,070	△ 333	現金及び預金の減少
固定資産	17,849	20,045	2,196	有形固定資産の増加
資産合計	43,252	45,116	1,863	
流動負債	11,871	12,667	795	仕入債務の増加
固定負債	4,061	4,037	△ 24	
負債合計	15,933	16,704	770	
純資産合計	27,319	28,411	1,092	利益剰余金の増加
負債及び純資産合計	43,252	45,116	1,863	
(自己資本比率)	63.2	63.0	△0.2pt	

1. 2022年度 連結業績
- 2. 2023年度 連結業績見通し**
3. 株主還元方針
4. 中期経営計画の進捗状況

2023年度 経営方針

2021年度から2023年度までの中期経営計画
『チャレンジ280』の最終年度

2023年度 経営スローガン

新たな変革にスピードを意識し
果敢に挑戦して行こう

重点施策

受注の確保

コストの削減

品質の向上

2023年度 業績見通し

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度 予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
受注高	32,884	17,170	34,730	1,846	5.6
受注残高	16,247	19,090	21,820	5,573	34.3
売上高	28,478	14,320	32,000	3,522	12.4
売上総利益	7,777	3,670	8,540	763	9.8
営業利益	2,411	900	2,840	429	17.8
営業利益率 (%)	8.5%	6.3%	8.9%	0.4pt	—
経常利益	2,530	910	2,900	370	14.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,806	570	1,900	94	5.2
1株当たり純利益 (円)	119.65	37.76	125.86	6.21	—

- ▶ 受注高は、中国向けを中心とした精密機械と底堅い搬送機械の自動化需要を取り込む
- ▶ 売上高は、過去最高額の320億円を目指す

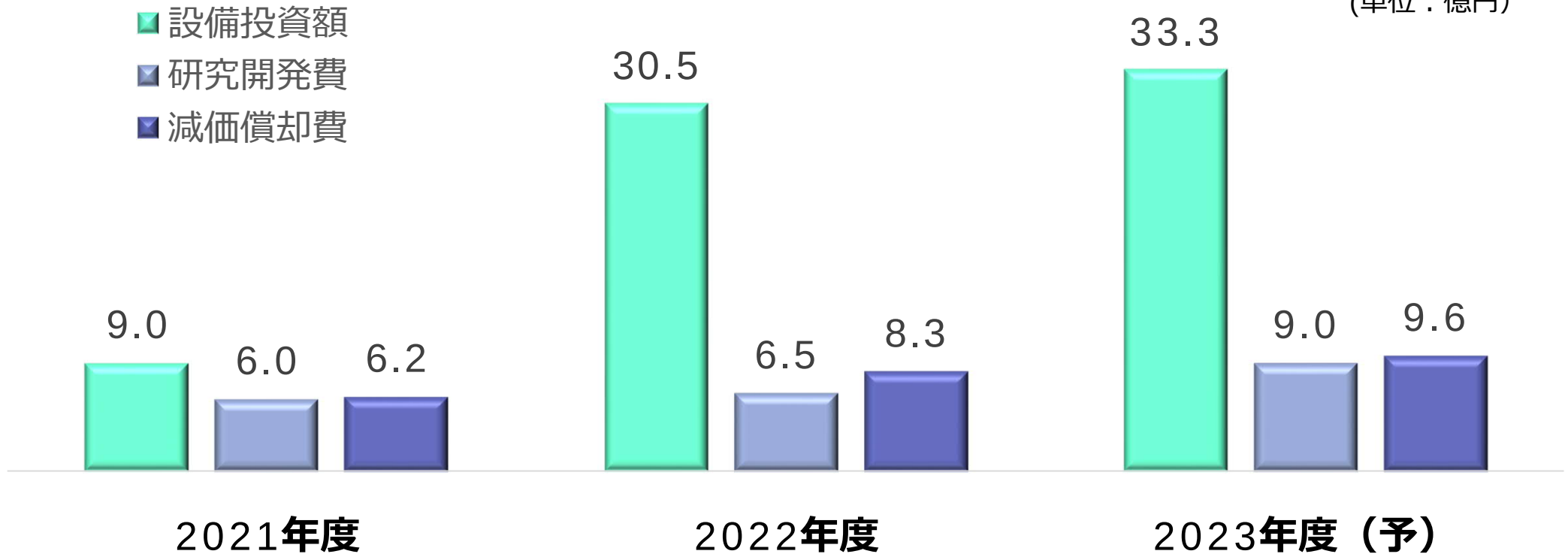
事業セグメント別 売上高予想

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
搬送機械事業	9,351	5,850	12,000	2,649	28.3
産業機械事業	6,044	1,970	6,550	506	8.4
精密機械事業	12,472	6,300	12,950	478	3.8
その他事業	609	200	500	△ 109	△ 17.9
合 計	28,478	14,320	32,000	3,522	12.4

設備投資・研究開発費・減価償却費

(単位：億円)



【設備投資額】

- ▶ 新工場の建設や、積極的な生産設備の老朽化更新と増設を計画

【研究開発費】

- ▶ 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発
- ▶ 中長期を見据えた開発計画の推進

【減価償却費】

- ▶ 積極的な設備投資に伴い増加の見込み

新精密工場兼事務所棟建設について

■ 新精密工場兼事務所棟建設の目的

電子部品及び電気自動車関連の生産急増および半導体市場の中長期的な成長を背景に、当社製品に対する需要も高い水準で推移し続けている。

現状の対応能力以上の受注が続いているため、高まる製品需要に対して今後もの確に対応していくため、新工場の建設によって生産能力を現状比で1.5倍に高め、事業の競争力強化を図る。

■ 新精密工場兼事務所棟の概要

- (1) 名 称 : 新精密工場兼事務所棟
- (2) 所 在 地 : 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
(本社工場敷地内)
- (3) 構 造 : 鉄骨造 (準耐火構造)
- (4) 規 模 : 地上3階
延床面積 11,785.00m² (3,564坪)
建築面積 6,170.00m² (1,866坪)
- (5) 竣 工 : 2024年9月 (予定)
- (6) 投資金額 : 約50億円



新精密工場兼事務所棟 外観イメージ

搬送機械事業の概況

▣主要商品

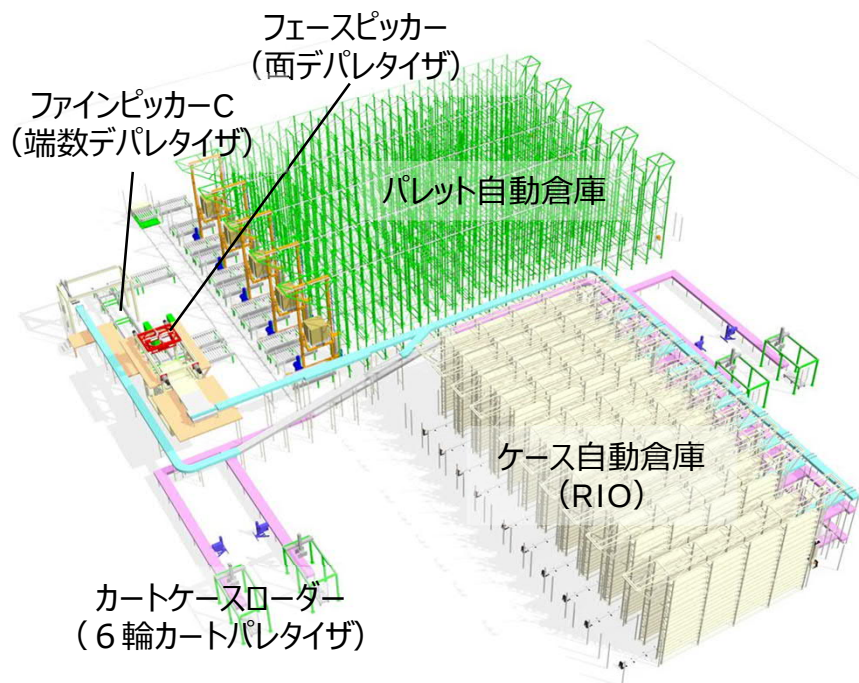
立体自動倉庫
F Aシステム
ケース自動ピッキングシステム
搬送・ハンドリングシステム
ロボティクスマテハン

▣事業の特徴

自社開発・販売
オンリーワン商品
24時間対応サービス体制
優れたソフト開発力

▣シェア（推定値）

立体自動倉庫市場 20%
自動ピッキングシステム
（高速分野） 10%
無人加工システム市場 40%



コンビニエンス向け
飲料自動ピッキングシステム

▣ 主な納入先業界

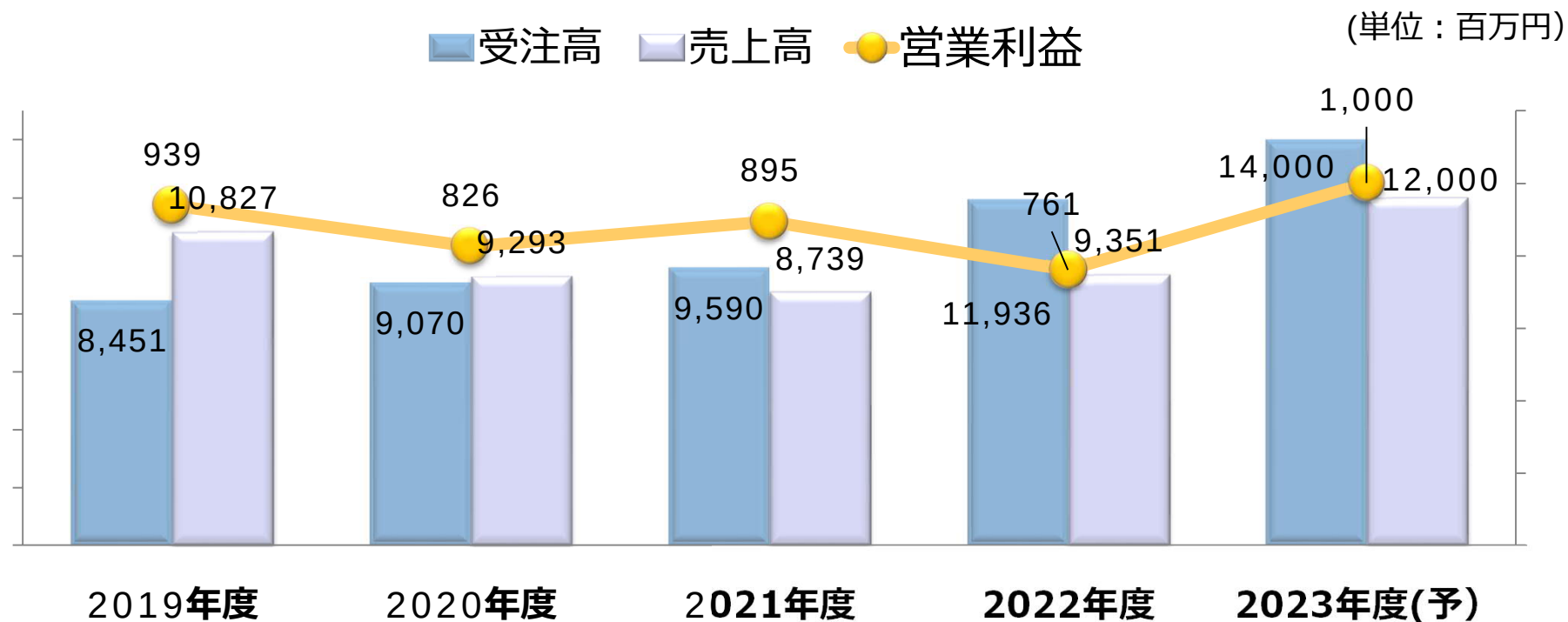
< 業 界 >
食 品
運輸・倉庫・卸
医 薬 / 化 学
機 械
電気機器
そ の 他

1. 従来型自動倉庫の
採算性向上と
新市場開拓

2. ロボティクス・マテハンの
開発並びに拡販

3. 提案型サービス
による拡販と
コールセンター
の充実

搬送機械事業 通期見通し



□ 重点施策

- ▶ 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、開発、製造・販売。
- ▶ 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売。
- ▶ 2024年問題への対応・機器の開発。
- ▶ 流通、電池、運輸・倉庫、機械の各業界を重点に拡販。
- ▶ (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給。
- ▶ 国内外（中国）向けサービスメンテ拠点の強化。



ロボティクス・マテハン
(トランシップ・カートローダー)

産業機械事業の概況

▣主要商品

バルブアクチュエータ
ゲート駆動装置
バルブ制御システム

▣事業の特徴

高い市場占有率
納入実績70万台
サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

▣シェア（推定値）

上下水道	70%
電力・鉄鋼	20%
河川・ダム	40%



ゲート駆動装置
(大型チェーン式)



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ

▣ 主な納入先業界

< 業 界 >

官庁関係 (厚生労働省・国土交通省・
防衛省・各地方自治体 他)

バルブ・ゲートメーカー 各社

電 機・重 工・造 船 各社

そ の 他

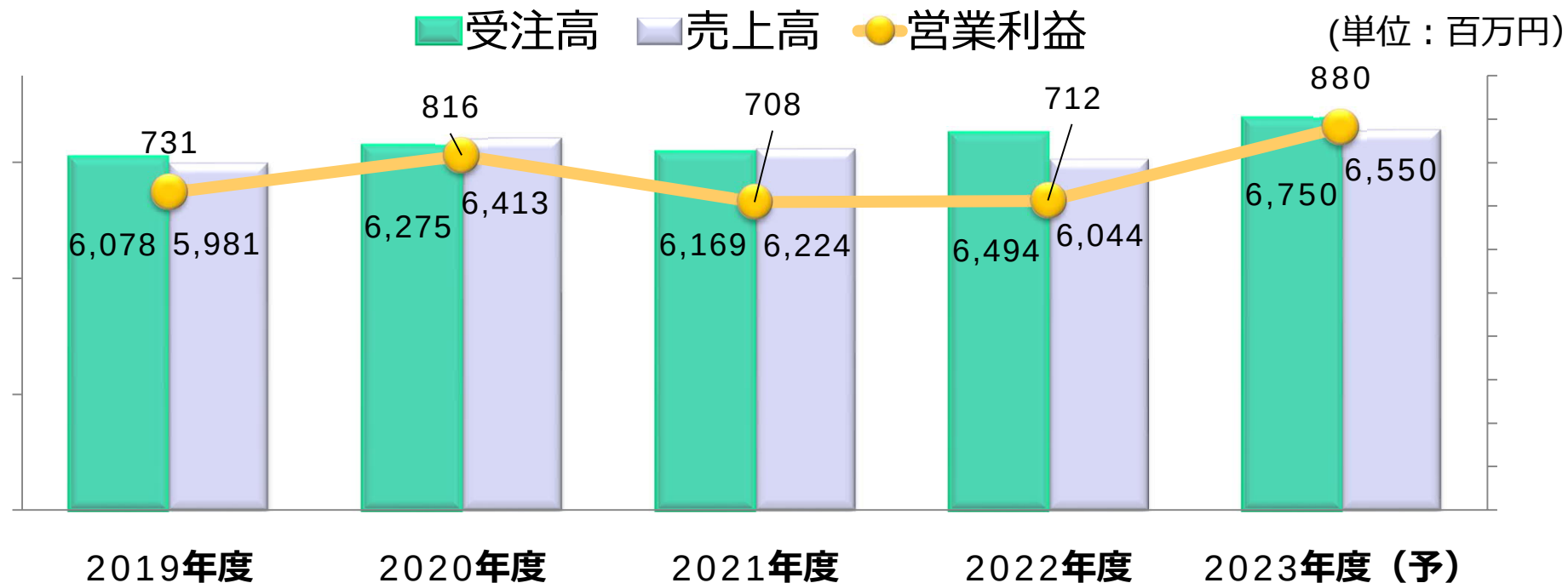
産業機械事業 2023年度の基本方針

1. メンテプランの提案
強化によりM E 事業
の受注拡大

2. 災害対策商品を
民需・ゲート市場へ
展開

3. 海外生産工場立ち上げ
と共に海外市場に適合
した製品を開発し
市場展開・拡販

産業機械事業 通期見通し



□ 重点施策

- ▶ 鉄鋼などの民間企業をターゲットに提案型新システムの拡販。
- ▶ 国内火力発電所の新規案件の受注獲得。
- ▶ 造船・ガス分野にVMMで新規参入及び載せ替え案件の受注獲得。
- ▶ 大型ゲート物件のコストダウンと拡販。
- ▶ メンテナンス受注の獲得。
- ▶ タイ市場の拡張。現地生産の充実と整備。



Semflex-VMM-Z

精密機械事業の概況

▣主要商品

【放電加工機】

超精密・高精密ワイヤ放電加工機
超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

【工作機械】

高精密小形NC旋盤
自由形状内面研削盤

▣事業の特徴

【放電加工機】

業界No. 1 評価のワイヤ自動供給装置
金型業界No. 1 のピッチ精度・

加工安定性

【工作機械】

抜群の寸法安定性
金型等への市場拡大

▣シェア（推定値）

【放電加工機】

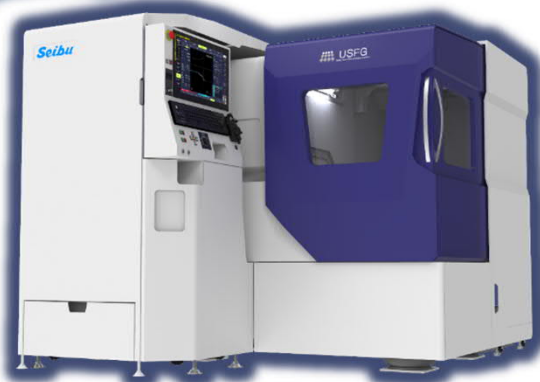
35%（国内生産分）

【工作機械】

高精度対象商品



（放電加工機）
MM50UP



（工作機械）
USFG

▣ 主な納入先業界

< 業 界 >
精密金型 他
自動車・航空機
電 子・電 機
光 学
そ の 他

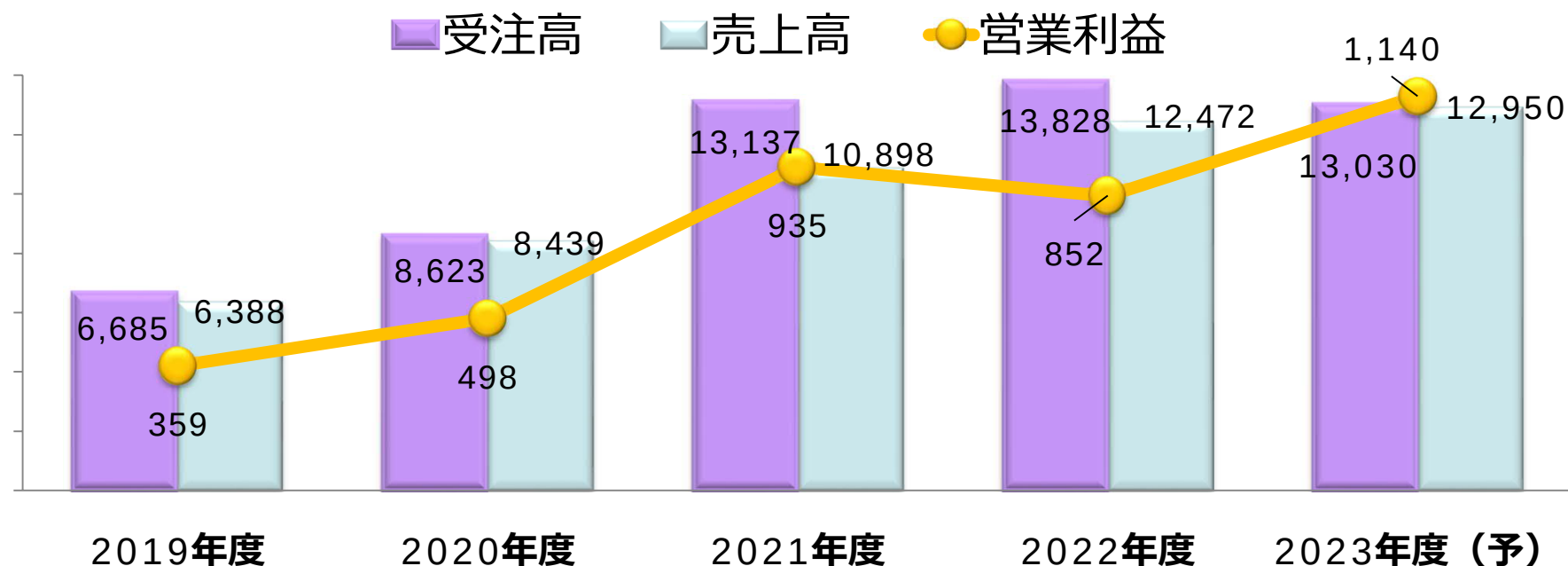
1. 地域別の販売戦略を展開し
中国一極からの
脱却を目指す

2. ターゲット分野
(半導体・EV・医療・
鍛造金型)に
向けた新製品開発、
新システム開発の
スピードアップ

3. 保守、技術
サポートを充実させ
販売店との強化を図り
当社のブランド力と
知名度をアップ

精密機械事業部 通期見通し

(単位：百万円)



□ 重点施策

【放電加工機】

- ▶ 付加価値を追加した新機種『M-HP・MM-UP』の拡販。
- ▶ 大型高精密加工機『SuperMM80B』の拡販。
- ▶ 高精密・超精密をアピールし、更なる海外市場獲得。

【工作機械】

- ▶ 金型業界へ高精度複合研削盤として、S F Gシリーズを国内外に拡販。
- ▶ 高生産性の客先のご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販。

1. 2022年度 連結業績
2. 2023年度 連結業績見通し
- 3. 株主還元方針**
4. 中期経営計画の進捗状況

株主還元（配当政策・株主優待）

■ 配当政策

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。
配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

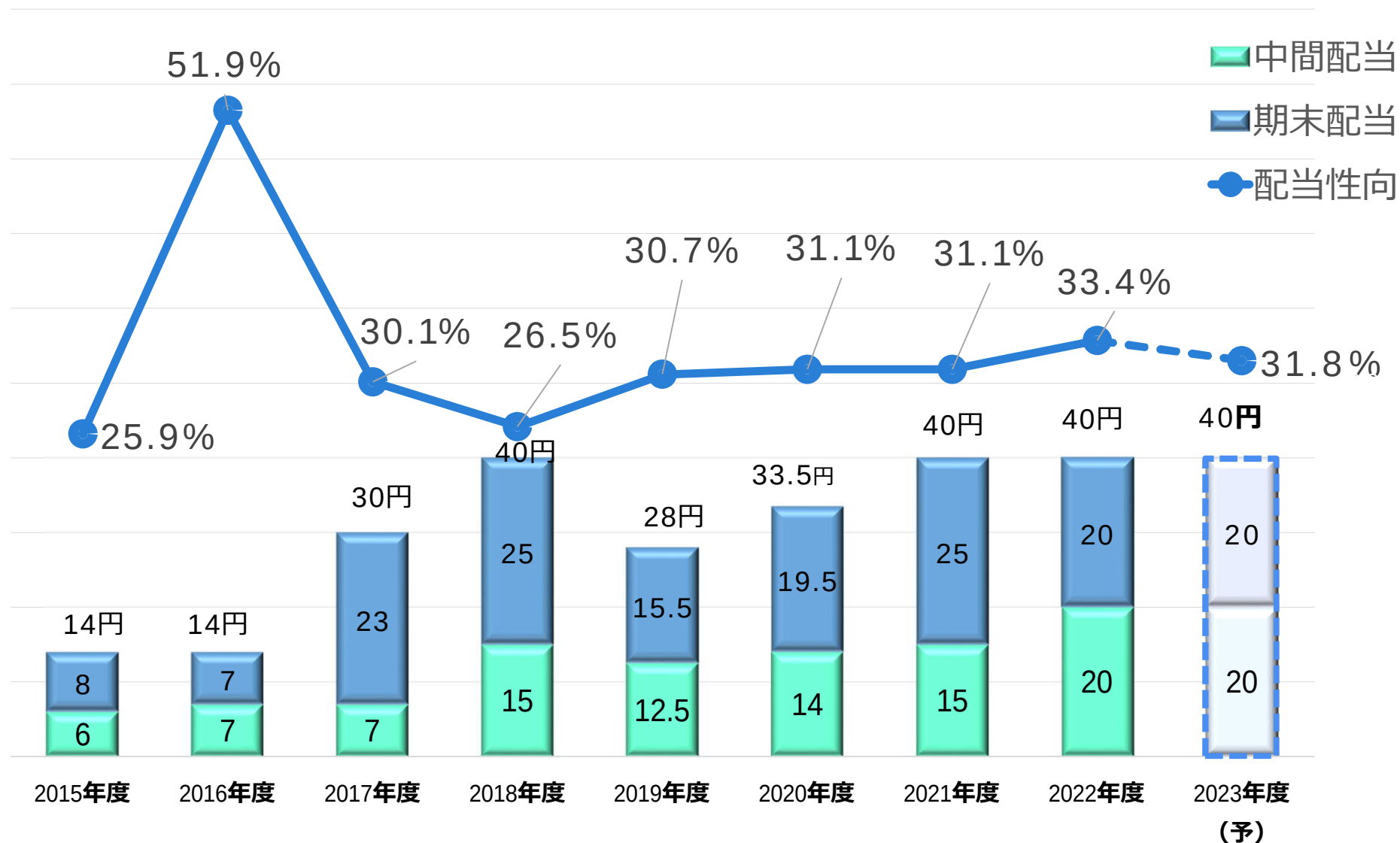
■ 株主優待

株主優待制度を実施しております。
3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1单元（100株）以上保有の株主様に、当社オリジナルQUOカード1,000円分を贈呈いたします。



配当金推移

■ 2023年度の配当予想は、前年度と同額の年間40円/株を予定



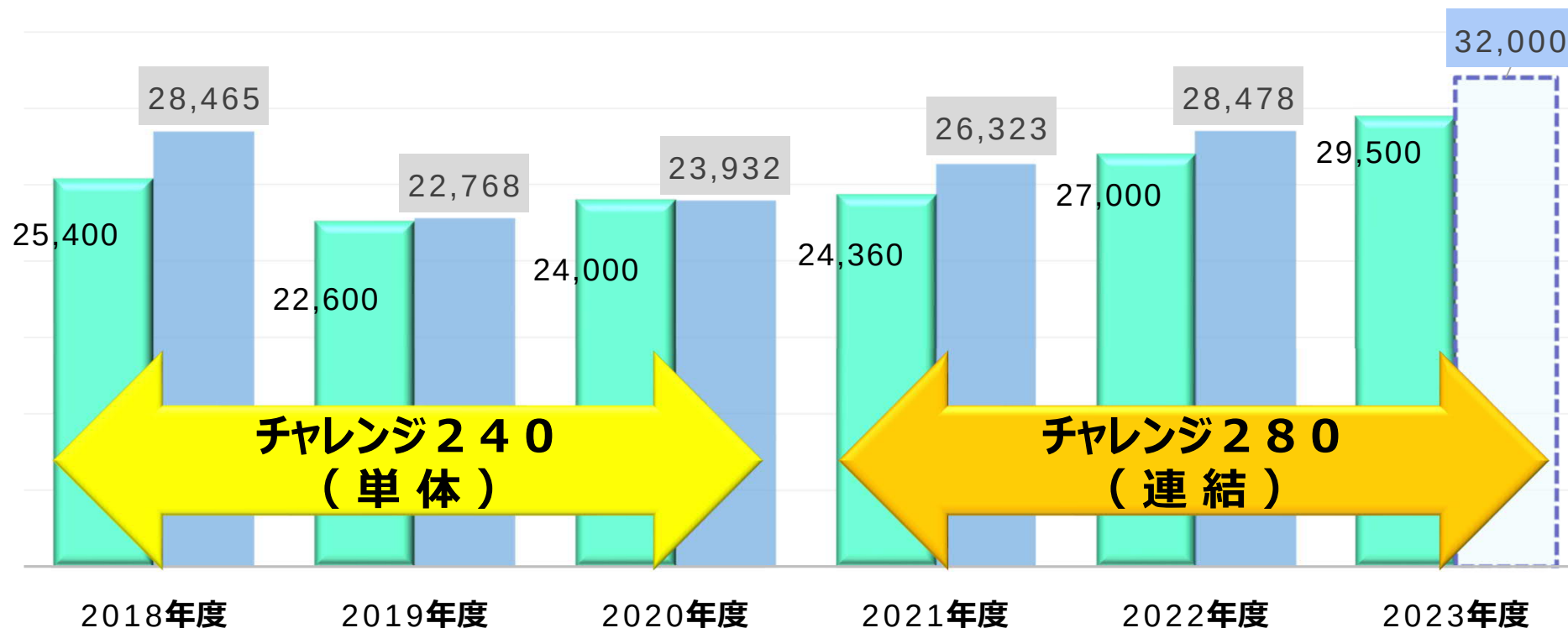
1. 2022年度 連結業績
2. 2023年度 連結業績見通し
3. 株主還元方針
4. **中期経営計画の進捗状況**

「チャレンジ280」中期経営計画 売上高推移

2018年度～2023年度見通し

■ 計画
■ 実績

(単位：百万円)



- ▶ 中期経営計画『チャレンジ280』は初年度、2年目ともに計画を上回り、最終年度も計画を上回る予想としております。
- ▶ 『チャレンジ280』最終年度では、売上高295億円の目標に対し、320億円を計画しており、次期中期経営計画に向けて確固たる基盤を構築して参ります。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



東証スタンダード・福証（証券コード：6 1 4 4）

＜お問い合わせ先＞ 経営企画部

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp>